

第十三回 衆議院國有林野法案外三件審査特別委員會速記錄 (第六號)

明治三十二年二月二十三日午前十一時五分開議

國有土地森林原野下戻法案修正案

第一條 明治元年以後官有ニ編入セラレ現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若ハ立木竹ハ其處分ノ當時之ニ付キ所有分収又ハ收益ノ事實アリタル證據ヲ有スル者ニ於テ此法律ニ依リ明治三十三年六月三十日迄ニ主務大臣ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得
前項ノ期限ヲ經過シタルモノハ下戻ノ申請ヲナスコトヲ得ス
地租改正處分既濟地方ニ於ケル未定地脫落地ニ付テハ此法律ノ規定ヲ準用ス

第二條 前條ニ依リ申請ニシテ左ノ一ニ該當スルモノハ下戻ヲ爲スヘシ

- 一 所有又ハ分収ノ事實ヲ證スヘキ公簿又ハ公書
- 二 高受若ハ納稅シタルコトヲ證スヘキ書面
- 三 賣買讓與質入書入寄附等ニ依リ所有又ハ分収ノ事實ヲ證スヘキ書面
- 四 木竹又ハ其賣却代金ヲ分収シタルコトヲ證スヘキ書面
- 五 私費ヲ以テ木竹ヲ植付ケタルコトヲ證スヘキ書面若ハ實蹟
- 六 私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタルコトヲ證スヘキ書面
- 七 社寺上地ニシテ遞減祿ヲ受ケサルモノ
- 八 官署ヨリ拂下又ハ下付ヲ受ケタル事實ヲ證スヘキ書面
- 第三條 下戻ヲ受ケタルモノハ其下戻ニ依リテ所有又ハ分収ノ權利ヲ取得ス

前項ニ依リ所有又ハ分収ノ權利ヲ取得シタルモノハ其土地森林原野若ハ立木竹ニ關シ第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス
第五條 下戻申請ニ關シ不許可ノ處分ヲ受ケタル者其處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第六條 此法律施行以前ニ差出シタル下戻ニ關スル申請書又ハ願書ハ此ノ法律ニ依リタルモノト看做ス

提出者

關 信之介
戸狩 權之助

國有土地森林原野下戻法案修正

第一條 第一項中「明治三十二年十二月三十一日迄」トアルヲ明治三十三年六月三十一日迄トシ
第二項中「又ハ下戻ニ關シ既ニ處分ヲ受ケタルモノ」以上十八字削除

右

提出者 有 村 連

國有土地森林原野下戻法案修正意見

提出者 出水彌太郎

第一條中「三十二年十二月卅一日」ヲ「三十三年六月三十日」ト改ム
第二條以下ヲ順次繰下ケ第二條トシテ新ニ左ノ一項ヲ加フ
第二條 社寺上地ノ境外林地ニシテ其ノ收益ニ對シ遞減祿ヲ受ケサルモノハ證據ノ有無ニ關ハラス下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第三條ヲ左ノ如ク改ム

第三條 第一條ニ依リ下戻ノ申請ヲ爲ス者ハ其ノ事實ヲ証スル爲メ少クモ左ノ書面ノ一ヲ添付スルコトヲ要ス
修正
第四條中 認ムルトキノ下「及第二條ノ申請ニ對シテ」ノ十一字ヲ加フ

第六條中 公用ノ下「又ハ社寺境内」ノ六字ヲ削ル

第九條 社寺境外林取締ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

國有土地森林原野下戻法修正意見

第一條 地租改正又ハ社寺上地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若ハ立木竹ハ其處分ノ當時之ニ付キ所有又ハ分収ノ事實アリタルモノハ此ノ法律ニ依リ明治三十三年十二月三十一日迄ニ主務大臣ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得
前項ノ期限ヲ經過シタルモノハ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス
明治元年一月以後上地處分ヲ受ケタル土地及地租改正處分既濟地方ニ於ケル未定地脫落地ニ付テハ此ノ法律ノ規定ヲ準用ス

第二條 前條ニ依リ申請ニシテ左ノ一ニ該當スルモノハ下戻ヲ爲スヘシ
一 公簿若ハ公書ニ依リ所有又ハ分収ノ事實ヲ證スルモノ
二 高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノ
三 官ヨリ拂下又ハ下付ノ證アルモノ

四 賣買、讓與、質入、書入、寄附等ノ證アルモノ
五 木竹又ハ其賣却代金ヲ分収シタル證アルモノ
六 私費ヲ以テ木竹ヲ植付ケタル證アルモノ
七 私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタル證アルモノ

第三條 下戻ヲ受ケタル者ハ其下戻ニ因リテ所有又ハ分収ノ權利ヲ取得ス
前項ニ依リ所有又ハ分収ノ權利ヲ取得シタル者ハ其土地森林原野若ハ立木竹ニ關シ第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス
第四條 下戻申請ニ對シ不許可ノ處分ヲ受ケタル者其處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 此法律施行以前ニ差出シタル下戻ニ關スル申請書又ハ願書ハ此法律ニ依リタルモノト看做ス

提出者 佐木々正藏

土地森林原野下戻法(中村彌六修正)

第一條 廢藩置縣後官有ニ編入セラレタル土地森林原野若ハ立木竹ニ付キ所有、分収又ハ收益シタルノ事實アルモノハ此ノ法律ニ依リ明治三十三年十二月三十一日迄ニ主務大臣ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ期限ヲ經過シタルモノ又ハ下戻ニ關シ既ニ處分ヲ受ケタルモノハ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス但既ニ處分ヲ受ケタルモノト雖モ新ナル事實證ヲ有スルモノハ前項ノ期限內ニ於テ下戻ノ申請ヲナスコトヲ得

地租改正處分既濟地方ニ於ケル未定地稅落地ニ付テハ此ノ法律ノ規定ヲ準用ス

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ主務大臣ニ於テ下戻ヲ爲スヘシ

一 公簿若クハ公書ニ依リ所有、分収又ハ收益シタル事實ヲ證スルモノ

二 官ヨリ拂下ケ又ハ下附シタル證アルモノ

三 土地ニ對シ納稅シタル證アルモノ

四 賣買讓與質入書入寄附等ノ證アルモノ

五 木竹又ハ其ノ賣却代金ヲ分収シタル證アルモノ

六 私費ヲ以テ木竹ヲ植付ケタル證アルモノ

七 私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタル證アルモノ

八 主副產物ヲ收益シタル證アルモノ

九 其他從來ノ成蹟慣行上民有ト認ムヘキモノ

第三條 下戻ヲ受ケタル者其下戻ニ依リテ所有又ハ分収ノ權利ヲ取得ス

前項ニ依リ所有又ハ分収ノ權利ヲ取得シタル者ハ其ノ土地森林原野若クハ立木竹ニ關シ第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス

第四條 下戻申請ニ對シ不許可ノ處分ヲ受ケタル者其處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 此ノ法律施行以前ニ差出シタル下戻ニ關スル申請書又ハ願書ハ此ノ法律ニ依リタルモノト看做ス

○委員長(杉田定一君) ツレデハ開會致シマス、下戻法案ノ方カラヤリマス、段々修正案が出テ居リマスルデ、混雜ヲ致ストナリマセヌデ、先ヅ第一條ノ第一項ヲ議題ニ供シマス

○(有村連君) 此場合ニ少シ政府委員ニ確メテ置キタイコトガアリマスガ、此地租改正ト云フコト、彼ノ山林境界調査ニ於テ、間違ッテ民有ノ方ニ組込シタカ、又民有ノ方ヲ間違ッテ、官有ノ方ニ編入シタカ云フヤウナモノハ、實際アルヤウニ見受ケマスガ、ツレハ是ニ含蓄シテ居ラヌノデアリマスカ

○農商務技師(村田重治君) 唯今ノ御尋ノコトハ、此境界調査ノタメニ官有ニ編入シタカ、其タメノ誤謬ハ、下戻法ニ依ッテハ出來ナイノデゴザイマス、即チ一ト通りノ行政處分トシテ農商務大臣ガヤレルノデゴザイマス、御承知ノ通り境界調査ナド、云フモノハ、悉ク證據ニ依ルト云フコトハ、ドウシテモ出來ナイノデゴザイマス云フモノハ、成ルベク地租改正ノ圖面、又ハ帳簿ニ依ッテ境界ヲ定メマシタケレドモ、地租改正當時ノ圖面ト云フモノハ、極ク漠然タルモノデゴザイマスカラ、實地ニ當箱ラヌタメニ、實際ノ林相デゴザイマストカ、或ハ地形ナリニ依ッテ、分ツタモノガアルノデゴザイマスカラ、之ヲ證據ニ依ッテヤルト云フコトニナリマス、非常ニ人民ノタメニモ不利ナコトガ澤山出來ルノデゴザイマス、ツレハ下戻法ト關係ヲシナイ方ニ見テ居ルノデゴザイマス

○(有村連君) ツレデハ別ニ其方法ガアルノデスカ

○農商務技師(村田重治君) ツレハ行政處分トシテ、農商務大臣ノ職權デ出來ルノデス

○(佐々木正藏君) 此場合ニ修正說ノコトヲ申述ベテ宜シウゴザイマス

○委員長(杉田定一君) 宜シウゴザイマス

○(佐々木正藏君) ツレデハ私ハ此第一條ニ付イテ修正シタイト云フコトデ、其修正ノ文字ハ提案シテアリマスルカラ、其文字ヲ申述ベル必要ハナイト思ヒマス、併シ他ノ議員ノ參考ニモナリマセウト思フ、又私ノ提案ノミナラズ、外ノ諸君モ同様デアラウト思ヒマスカラ、速記録ニハ掲ゲタガ便利ト思ヒマス、因ッテ文字ハ申述ベマセヌガ、理由ヲ簡單ニ申シマスルト、第一期限ガ當年ノ十二月ト云フコトデハ、短カ過ギルト思ヒマスカラ、ツレハ一年延バシテ、三十三年ノ十二月ト云フコトニ致シタイノデゴザイマス、ツレカラ此第二項中ノ「又ハ下戻シニ關シ既ニ處分ヲ受ケタルモノ」ト云フ文字ヲ削除致シタ譯デゴザイマス、若シ之ヲ削除シタナラバ、幾度モ勘定ヲ繰返シ繰返シ、出シハシナイカトサウ云フコトニナルト、煩ニ堪ヘナイ事柄デアルト云フヤウナ反駁ガアルカ知ラヌガ、決シテサウ云フ差支ハナイ、既ニ來年ノ十二月ト期限ヲ切リ、願書ハ是マデ指令ノ分ハ、隨分出願者等ニ於テハ、斷念ヲセズ居ッテ、裁判ヲ希望スルモノガ隨分アルト思フ、縱シヤ願書ヲ出シテ見タ所ガ、當局者ノ方デハ、到底此法律ノ第二ニ書イテアル、列記法ニ適セヌモノハ、聽屆難シト云フコトニナッテ、手數ヲ掛ケルダケデアアル、故ニ出願者ノ意見ヲ滿タヌタメニハ、再ビ出スト雖モ、來年十二月三十一日マデナラバ宜シイト言フ、少シ寛大ニ致スト云フ方針デ、之ヲ削ッタノデアリマス、第三項ニ「明治元年一月以後上地處分ヲ受ケタル土地及地租改正處分既濟地方ニ於ケル未定地稅落地ニ付テハ此法律ノ規定ヲ準用ス」ト云フ文字ヲ挿入致シマシタノハ、果シテ斯ウ云フ事實ガアッテ、斯ウ云フ文字ノ必要ガアルカト云フ事實ハ、私ハ認メヌ、併ナガラ段々此席ニ列スル諸君ニ於テモ、隨分此事ハ必要デアルト云フ御論モアルカラ、旁々研究シテ其字ヲ挿入シ、且ツ此

文字ガアツタト云ウテ、少シモ處分上ニ差支ハナイト思ヒマスカラ、斯ノ如ク修正ヲ致シタ、第二條以下ニ至リマスルト、勢ヒ此官有林野法ノ意見ヲ述ベテ、其意ヲ明カニスル必要ガアルガ、唯今ハ第一條ノコトヲ討議シテ居ルノデアアルカラ、二條以下ノ所ハ此次ニ申シマス

○(中村彌六君) 私モ此場合修正ヲ致シタ理由ヲ申述ベマス、一昨日デゴザリマシタガ、此第一條ノ修正ノ意見ニ就イテハ、申上ゲマシテ、其時ニ御料林ノコトニ對シテハ、議論ガゴザリマシテ、御料林ハ入レナイト云フ多數ノ御決定デアリマシタカラ、ソレヲ論究致シマセヌ、第一ニ法律ノ表題モ「國有」ト云フ文字ヲ脱カシメタハ、最早此「國有」ト云フ文字ガゴザリマセヌデモ、此中ヲ見マスレバ、一個人ノ持ッテ居ルモノヲ、政府ガ下戻シタルト云フ文字ハゴザリマセヌカラ、國有ノ文字ハ、脱イテ然ルベキデアルト思フ、偕テ第一條ニ於キマシテ、廢藩置縣ト云フコトニ致シマシタハ、外デモゴザリマセヌ、丁度地租改正ニ當リマシテモ、其維新ノ場合ニ於キマシテ、殊ニ當時方向ヲ誤リマシタ東北其他ノ諸藩ニ於キマシテハ、廢藩置縣ノ場合ニ於キマシテ、隨分舊主ヨリ私有ニ廻ッタモノモゴザリマスレバ、多數ノモノモ遂ニ此未ダ法令等モ明カナラザルタメニ、官沒セラレタモノガアルノデゴザリマス、是ガ地租改正當時以前ニ、東北ナドニハゴザリマスガ故ニ、若シ此地租改正ト云フコトノ期限ヲ取リマシタナラバ、此法律ノ恩澤ヲ均シク受クルコトガ出來ズシテ、止ンデシマフト云フヤウナ觀念ヨリシテ、之ヲ廢藩置縣ト云フコトニ修正ヲ致シマシタ、尙又官有ト云フコトニ單ニ致シタノハ、元ト國有デゴザリマシタモノヲ、下戻シタルト云フコトニ對シテハ、聊カ行政上テ隨分困難ノ場合ガアルデアラウト思ヒマスガ、元來官有ニスベカラザルモノヲ、官有ニスベカラザルモノヲ官有ニシ、其誤ッタモノヲ、第三者ノ手ニ渡シタモノモゴザリマシタナラバ、是ハ其當時行政官ガ其處分ヲ誤リマシタモノデアアルガ故ニ、全然權利ノ上ニ於テ、國家ハ之ヲ唯今第三者ノ手ニアルモノデゴザリマシテ、已ムヲ得ヌカラ、國家カラ辨償シテモ宜シイノデアアル、法律ヲ立ツルニ於テハ、權利ト云フモノガ十臺ニナッテ居リマスカラ、飽マデ之ヲ見マシテ、サウシテ此都合如何ト云フコトヲ見マシタナラバ、恐クバ立法ノ正鵠ヲ失フト思ヒマスガ故ニ、現ニ官有ト云フ文字ヲ省キマシタハ、其所以デアリマス、原案ノ所有又ハ分收ノ下ニ「收益」ト云フ文字ヲ入レタノハ、是モ政府ノ分收ト云フ説明ヲ聽キマシタナラバ、是ハ全然ドチラカラ見マシテモ、明カニナッテ居リマス、一般ノ部分林ニ外ナラヌモノデアアル、從來我山ノ如ク皆收益致シタ事實ハ、各地ニ澤山アルノデゴザリマス、是モ併セテ官有ニスレタモノデゴザリマス、之ヲ入レマスノハ、人民ガ數百年來ノ自然ノ權利ト云フモノヲ、官沒サレタノモ此處デ復舊シヤウト云フノデアリマス、是ニ付キマシテ尙ホ詳シク申上ゲテ置カナケレバナラヌノハ、茲ニ甲乙ノ村ガアツテ、均シク收益ヲ同シクシテ居ルノガ、甲村ガ貧乏デアッタトカ、金ガ入用トカ云フ場合ニハ、其山ヲ他ニ抵當ニシタトカ、ソレヲ書

入マシテ金ヲ借リタト云フ場合ガアレバ、其一ヲ以テ證據トシテハ、民有ニナッタヤウナ次第デアリマス、若シ其村ガサウ云フ場合ガナカッタトキト、是レマデノ例規ニ依ッテ、均シク同ジニ取扱ッタモノデゴザリマシテモ、純然タル收益ヲ認メラレズシテ、官ニ沒セラレタルモノガゴザリマス、是ハ均シク茲ニ恩澤ニ浴セサセタイト云フコトノ爲メニ、茲ニ入レタノデゴザリマス、ソレカラシテ茲ニ「前項ノ期限ヲ經過スルモ下戻シニ關シ云々」ト云フ但書ヲ入レマシテゴザリマス、是ハ唯今佐々木君ノ御説ヲ伺ヒマシタガ、成程場合ニ於キマシタラバ、佐々木君ノ御修正案ニ御同意ヲ表シテ宜シイコト、考ヘマスガ、尙ホ私ハ佐々木君ノ修正ヲ贊成致シマスルトシマシテ、其御述ベニナリマシタコトニ、多少補ッテ置キタイト思ヒマスルノハ、佐々木君ハ一旦願ッタモノデゴザリマシテモガ、又新證據ノ有無ニ拘ハラズ、提出シテモ宜シイト云フ御話シデゴザリマス、是ハ極言スレバ最モ公平ナ御論ト私ハ考ヘマス、私ノ案ヨリモ尙ホ一進歩シタルモノデゴザリマスルガ故ニ、ソレヲ贊成致シマス、ソレニハ將來ノ取扱ヒノコトヲ、チヨット諸君ニ御話シタラバ、最モ御贊成下サルダラウト思ヒマスルノハ、ナゼダト云ヒマスルト下戻シ處分ハ、今日ハナカク公平ニナッテ來マシタケレドモガ、明治二十三年以後マデハ——其以後モゴザリマスルガ、元來山林局ノ當局ヲ此處ニ置イテハ如何デゴザリマスルガ、二十三年前後位マデノ處分ハドウカト云フト、先ヅ下戻シ案ガ出テ來ルト、其下戻シノ理由ガアルカナイカト云フコトヲ、研究スルノハ第二トシテ、面積ガ廣イカ、木ガ澤山アルカト云フコトヲ、第一ニ調べタ位ノモノデアアル、木ガ澤山アリ、面積ガ廣クデモアルト、是ハ困ッタモノダ、面積ガ廣クテ木ガ多イカラ、マアヨサウデヤナイカト云フノデ、願ノ趣キ聞届ケ難シト云フノデ、却下シタト云フ事實ヲ私ハ知ッテ居ル、サウ云フモノバカリニモ限リマスマイガ、先ヅサウ云フ傾向ヲ澤山持ッテ居ッタ、又ソレガ即チ大變ニ時ノ政府ニ忠義デアッタヤウニ、私共ハ記憶シテ居ル、故ニ今日ハサウ云フコトモアルマイト思ヒマスルケレドモガ、下戻ス理由ノアルノヲ、何時マデ經ッテモ指令ハ下ラヌデ、願ノ趣聞届難シト云フノガ、端々片ガ付イテ往クト云フ點カラ見テ、幾分カマダ其餘弊ガ遺ッテ居リハセヌカト云フコトヲ想像シテ宜イ、既ニ指令ヲ下ゲタモノ、上ニ於キマシテモ、斯ノ如キ不幸ナル指令ノ下ニ呻吟シテ居ル權利者モ、澤山アルコトヲ私ハ想像致シマス、故ニ是ハ佐々木君ノ御説ノ如ク門戸ヲ開放致シマシテ、一旦願ッタモノデモ何デモ、理由ガアルナラバ、再ビ即チ公平ナル判斷ハ、此法律ニ依ッテシタルゾト云フ門戸ヲ開イタ方ガ、宜カラウト思ヒマス、事實ノ上カラモ、即チ寧ろ私ハ場合ニ依リマシタナラバ、佐々木君ノ修正案ヲ贊成致シマス、第一條ニ於キマシテハ、意見ハ是ダケデゴザリマス

○(畠山雄三君) 佐々木君及ビ中村君ノ御説ヲ伺ヒマシタガ、至極御尤モ、而シテ大体ハ、佐々木君ノ御修正ガ宜カラウト思ヒマスガ、又「前項ノ期限ヲ經過スルモ云々」是ハ佐々木君ノ御修正デモ、佐々木君ノ御修正ノ中ニ、當時

之ニ付キ所有又ハ分收ノ事實アルモノト云フ所ハ「當時之ニ就キ所有分收又ハ收益シタル事實アルモノハ」ト斯ウ直シタイト思フ

○(佐々木正藏君) 此第二條以下テ述ベヤウト云フコトヲ申シテ置キマシタガ、今中村君ノ御説、畠山君ノ御説ナリ、矢張私ガ修正ノ意ヲ概略申シ述ベナケレバナラヌ、必要ヲ感シタノデゴザイマス、即チ此修正ノ理由トシテ、勢ヒ其國有林野法ノ改正ノ意見ヲ簡單ニ述ベヤウト思フデス、此收益ト云フコトニ付イテハ、即チ此第二條中ニモ、今ノ趣意カラ申セバ、一項二項ヲ挿入サル、コト、思フノデゴザイマスガ、私ハ之ヲ挿入シナイト云フ方ノ意見デゴザイマス、又一方ニハ、此關君ト戸狩君等ノ提案ニナツテ居ルモノヲ見テ見ルト、社寺上地林モ、即チ此遞減祿ヲ受ケナイモノハ、下戻シノ類ニ入レルト云フ案モ出テ居ルノデゴザイマス、是モ私ハ御同意ヲ致シ兼ネルノデ、併ナガラ其意味ハ、幾分カ同感デアツテ、此社寺上地林ノコトハ、此國有林野法ノ第三條ノ中ニ、一項ヲ設ケテ「社寺上地林ニシテ祭典保償及空地所必要アルモノハ其境内ニ組換ヘヲ爲スヘシ」ト斯ウ云フ一項ヲ挿入シテ、此社寺ニ祭典保償若クハ空地ヲ、社寺ニ挿入セシムル必要ガアルモノハ、其社寺ノ境内ニ組換ヘル、斯ウ云フ一箇條ヲ、林野法ノ方ニ持ツテ往ツテ修正ヲシテ、社寺ノ保存上必要ダケノ希望ヲ充タシタイ、斯ウ云フ趣意デアアルノデゴザイマスデ、此收益上ノコトハ、林野法ノ十八條ニ往ツテ、是又一項ヲ設ケテ、文字等ノコトハ、或ハ法文トシテ不完全カモ知レヌデスカラ、文字上ノコトハ後トデ、委員長ノ御手許テ直サル、モノトシテ、意味ヲ申シマサルガ、其趣意ハ、地租改正以前ニ於テ林野產物ノ全分若シハ一部ヲ收益シタル證アルモノ亦前項ニ同ジト、即チ此林野產物ノ一部若クハ全分ヲ收益シタル證ガアルナラバ、即チ此十八條ノ部分林ト見做シテ取扱フスベキモノト、斯ウ云フコトヲ此林野法ノ十八條ニ挿入シタラバ、此收益ト云フモノニ附イテ、實際舊藩中ニハ、ソレダケノ權利ヲ持ツテ居ル者ガ、地租改正ノ際之ヲ排斥サレテ居ルト云フノハ、幾分カニ依ツテ復活スルコトガ出來ルト思フノデゴザイマス、況ヤ此林野法ノ趣意ハ、即チ十七條ノ委託方ニ依ツテ、今ノ收益ニ關係アルモノハ、是ニ依ツテ舊藩ノ制度ニ引戻スコトガ出來、又ハ今ノ十八條ノ一項ヲ加ヘザレバ、引戻ス方法モ絶ヘ、又一ハ森林ノ特別經營ト云フ方ノ側ニ依ツテ、國有林野ニ屬シタモノハ、隨意契約即チ公賣デナクシテ、拂下ガ出來ルト云フコトニナリマス、以上ハ十七條ト十八條ト國有林野ノ拂下ト、三ツノ方法ヨリシテ、舊藩ノ制度中ヨリ收益權ヲ持ツテ居ルモノハ、是ニ依ツテ所有スルコトガ出來ルト云フ、私ハ認メテ附ケル、然ル以上ハ、下戻ト云フ方ノ側デ、其權利ヲ此六項ノ次ニ、七項八項トシテ挿入スルコトハ、同意ヲ致サヌト云フ趣意デアアル、ソレ故ニ第一條ノ中村君若クハ畠山君ノ御説ノ如ク、分收ノ末ニ收益ト云フ文字ヲ挿入セラルト云フコトハ不同意ヲスル、不同意ヲスル理由ハ、今ノヤウナ趣意ヲ以テ居ルコトヲ一言述ベテ置キマス

○(前島丈之助君) 此第一條ノ修正案ハ、佐々木君中村君尙ホ關君ト此三案ヲ閱スルニ、大同小異デアツテ此第一ニ異ナツテ居ル所ノ、中村君ノ修正案ハ、國有ト云フ文字ヲ削ルト云フコトガ、主眼ノヤウデゴザイマス、ソレヲ一應決ヲ採ラレマシテ、ドチラカニ御決シナリマスガ、早イコトニナリマス、ドウカソレヲ先キニ御決シテ願ヒタイ

○(出水彌太郎君) 私モ此第一條ニハ、此年月ダケノ修正ヲ出シマシタガ、私共ハ來年ノ六月三十日デ宜カラウト云フ考デ、出シマシタガ、今佐々木君ナリ中村君ナリノ修正案ヲ見マスルト、十二月三十一日ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ關君外戸狩君カラ御出シナツタノハ、六月三十日トアツテ、私ノト合ツテ居ル、關君ハ之ヲ主張ナサル御見込デスカ、此年月ダケヲ讓合ヲ附ケレバ、議論セヌデモヨカラウト思ヒマスガ、ドウデス、チヨット御尋シマス

○(關信之介君) ソレハ何レデモ……

○(高岡忠郷君) 唯今議論モゴザリマスガ、先刻既ニ御料林ヲ含ムカ、含マヌカト云フコトヲ御採決ニナツタコトデアリマスカラ、是ハ矢張國有ノ文字ヲ拔キマシテモ、既ニ國有ノモノト見ルヨリ外ナカラウト思ヒマス、唯講究スベキ問題ハ、此收益ト云フ點デゴザイマス、收益ト云フ點ニ付イテハ、削減ノ御説モアリマスガ、第二條ノ證據ノ一トシマシテ、分收シタル事實ヲ以テ、私ハ收益ト見ルノデゴザイマス、收益ト見ルト云フコトニ致シマスレバ、第二條ノ其一ニ該當シタルモノハ、下戻スベシト云フコトニナル原因デアリマス、原案ニハ「ナスコトヲ得」ト云フコトニナツテ、其區別ガ判然シテ居ラナイ(此時紛雜甚ダ數ク聽取スル能ハス)サウスルト收益ト云フ文字ガ、ナイヤウニナツテモ同ジコト、思フ

○委員長(杉田定一君) チヨット御諮リ申シマス、修正案モ皆出テゴザリマスガ、御意見モ分ツテ居ルヤウデスカラ、決ヲ採ツテハ如何デス

○農商務技師(村田重治君) ソレデハ要點ダケヲ……政府ノ意見ヲ申上ゲマスガ、第一ノ「明治元年以後官有ニ編入セラレ」ト云フコトガ、關君ノ御提出ニナツタル案デゴザイマス、中村君ノ案ハ「廢藩置縣後官有ニ編入セラレ」トアリマス、是ハ何レデゴザイマシテモ、政府ノ方デハ、餘リ大シタ變リハナイト云フ御考デアリマセウケレドモ、實際ニ至ツテハ、非常ノ困難ナコトガ出來ル、ソレハドウ云フ譯カト申シマスルト、此明治元年以後ト云フコトニナリマスルト云フト、其後ニ地租改正ト云フモノト、社寺上地處分ト云フモノハ、官民有ノ區分トシテノ一ノ大キナ事業デアリマシタケレドモ、其外ニハ何モ處分ト云フコトハナイノデゴザリマス、ソレデ若シモ斯ウ云フ言葉ヲ用井マシタナラバ、何カ外ニアリハシナイカト考ヘ出スト、或ハ先程有村君ノ御尋ニナツタヤウナ境界處分ノ如キモ、之ニ這入ルヤウナ心持ガスル、又サウ云ウ風ニ解釋シナケレバナラヌ、サウシマスルト境界處分ト云フヤウナモノヲ、之ニ依ツテ證據上テ下戻スト云フコトニナリマス、實ハ證據ノアル

モノト云フモノハ甚ダ少イ、ソレデ非常ナ其地方ノ人民ニ對シテハ、迷惑ヲスルヤウナコトガ出來ヤウト思フ、ソレカラモウ一ツハ、仙臺地方ナドニ對シマスト云フト、例ノ明治二年ニ削封セラレテ居ル、削封セラレテ居ルノナドハ、ドウ云フ結果ニナリマスカタ云フト、アレハ處分シテハ、モウナイノデゴザイマスケレドモ、免ニ角削封當時ニ辨事役所ト云フモノヲ置イテ、當時ノ政府ガ置イテ、處分シテ例ニ依ッテ、今日處分シテ居ルト云フコトニナリマスカラ、是等モ是ガ這入ルタメニ、何ノ利益モアリマセヌ、若シ一方ニハ害ヲ與ヘテ、一方ニハ利益ガナイト云フコトナラバ、斯ウ云フ解釋ノ仕ニクイ言葉ヲ使フト云フコトハ、法律上實際施行者ガ、甚ダ困難スルデアラウト思ヒマス、矢張是ハ政府案ノ通りニナルコトヲ希望致シマス、ソレカラ第二ノ點デゴザイマスガ、第二ノ點ハ、此收益ト云フ言葉ガ這入ッテ來マシタ、是ハ中村君及ビ關君ノ案トデ「收益ノ事實アリ」ト云フコトガ這入ッテ來マシタ、是モ前日來非常ニ議論ガアッタコトデゴザイマスカラ、詳シクハ申シマセヌケレドモ、是ハドウシテモ權利トシテ認メルコトハ、出來ナイノデゴザイマスト云フノハ、過日中村君ニ御尋スルト、從來其地方デ官林ヲ保護シテ居ッテ、サウシテ其代リニ林產物ヲ收益シテ居ッタモノヲ、收益トスルト云フ御答デゴザイマス、ソレハ權利デナクシテ、保護ノ報酬トシテヤッテ居ッタノデアルカラ、下戻スベキ性質ノモノデナイ、ソレハ林野法ノ第十七條デ、舊藩ノ制度ト稍ノ類似シタモノヲ作ッテ、矢張保護サセテ、其報酬トシテ林產物ヲ讓與スルト云フコトガ、出來テ居ルカラ、其目的ハ達セラレルノデアッテ、此下戻法案ニ依ッテヤルト云フコトハ、非常ニ困難ナコトデアルシ、又理窟モ許サナイコトデゴザイマスカラ、絶對の同意ガ出來マセヌ、ソレカラ第三ノ年限ノコトデゴザイマスガ、是モ既ニ第十議會ノ際、衆議院ダケハ既ニ通過致シタノガ、明治三十二年十二月ト云フコトデ、通過ヲ致シテ居ル、成程今度更ニ出マシタカラ、多少時日ハ後レテ居ルト云フコトデアルケレドモ、事實上此事ハ、世ノ中ニ知レ渡ッテ居ルコトデアリマスカラシテ、左程十分ナ期限ヲ與ヘナクとも、成ルベク早ク整理ヲ致シタイト云フ考デ居リマスカラシテ、是ハ成ルベク政府ノ案ニ、御同意ヲ願ヒタイ積デゴザイマス

○(高岡忠郷君) ソレハ精神ガ違ヒマス、本案ヲ提出セラレテ、茲ニ列記シタ内ノ一ニ該當スルモノガアレバ、下戻スト云フコトニナッテ見ルト、第四第五デモ下戻サレベキ筈デアルガ、政府ハ第四第五ト云フモノハ、唯此一ツノ證據ヲ以テハ、下戻ヲセヌト云フ譯ニナリマスカ

○農商務技師(村田重治君) 此四五ハ、詰リ四ハ分收權ト云フコトニナルノデ、此ノ方ハ植付ケタル樹木ヲ其儘遺ッテシマフ、ソレデ其木ヲ植付ケタト云フ證據ガアレバ、全ク遺ッテシマフノデアルカラ、收益權ト云フモノハ、或ル年限ノ間年々其土地カラ利益ヲ取ラネバ、收益ト見做サレヌ、一時植付ケタタメニ、其木ハ遺ッテシマフノデ、土地ニ對シテ收益權ハナイカラ、其區別ハアル○(戸狩權之助君) 私ガ關君ト提出シタ案ハ、詰リ佐々木君ノ案ト同ジモノ

ダガ、第一條ノ中デ違フ所ハ、收益ト云フ所ト明治元年以後云々ノ所ガ違ッテ居リマス、諸君第一條ヲ明治元年々々トシタト云フコトハ、政府委員ハ先達吾々ノ質問ニ對シテ、明カニ地租改正以前ノモノデアッテモ、包含シテ居ルト云フコトヲ明言シテ居ル、ソレカラ又地租改正後ニ、境界調査ト云フコトヲシテ、誤ッテ官ガ民ノモノヲ取上ゲタモノハ、ドウシマス、ソレ等ハ下戻スコトハ出來ナイト云フハ、偏頗ノ處置ト云ハネバナラヌ、ソレデ色々サウ云フモノガアルトシマスレバ、是ハ當然下戻スベキモノデアルカラシテ、明治元年以後云々ト云フコトニシタ、何モ精神ハ違ッテ居ラヌ、ソレデ又政府委員ハ、絶對の反對ダト言フガ、既ニ衆議院決シテ、相當ナ決議デアッタラ、德義上同意セネバナラヌ、色々修正説ガ出テ居ルカラシテ、成ルベクハ纏メル方ニシタイト考ヘルガ、私ノ出シタ修正説ハ、收益ト云フコトハ、第二號ニ來マシテハ、今付帶シテ居リマス、第二條ニ第一所有分収又ハ收益ト記載シテゴザイマス、第七第八デナク、第一ノ方デアル、併ナガラ收益ノ解釋ニ至ッテハ、地方ノ狀況ニ依リテ、東北ハ東北デ舊來ノ慣行ガアリ、九州ハ九州デ一ノ慣行ガアッテ、各々地方ノ狀況ニ依ッテ異ッテ居ル、矢張收益ト云フ文字ハ、東北ニ取ッテハナクテハナラヌ

○(西村眞太郎君) 決ノ採リ方ニ付イテハ、意見ガアリマス、諸君ノ議論ガ色々ゴザイマスケレドモ、要スルニ國有ト云フ文字ヲ省ク、收益ト云フ文字ヲ入レル、期限ノコト、廢藩置縣ト書クカ、明治元年以後ト書クカ、若ハ地租改正云々ト書クカノ議論ガ、四ツニ分レテ居ル、此四ツニ付イテ、漸次決ヲ採ラレンコトヲ希望致シマス、序ニ申シテ置キマスガ、私ハ「地租改正又ハ社寺上地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ」ト云フ所ノ文字ヲ削ッテシマッテ「第一條現ニ國有ニ屬スル土地森林原野」云々ト云フコトニ致セバ、自然諸君ノ議論ノ納リガ、付クデアラウト思ヒマス

○(首藤陸三君) (私語騒々シキ爲メ聽取スル能ハズ) 大同小異デアリマスカラ、決ヲ採ラレルニ就キマシテハ、其意味ノ非常ニ異ッテ居ル所ハ、唯今云ハレル通り、例ヘバ西村君ノ……收益ト云フコトハ中村案ニ依リマシテモ、戸狩關兩君ノ案ニハ、收益ノ文字ガ這入ッテ居ル、吾々モ多少ノ字ヲ加ヘテ、同意シヤウカト考ヘテ居リマスガ、大體ハ佐々木君ノ案ガ……併ナガラ大體的收益ト云フコトヲ入レルト云フコトニ付イテハ、政府委員ノ村田君ハ、絶對的の反對ト云ハレマシタガ、奥羽地方ノ如キハ、部分林ト云フコトハ、收益ト云フコトデアリマス、收益ハ權利ガナイト斷定セラレテハ、迷惑デアアル、收益ト云フコトハ、吾々ノ骨髓トシテ置ク、ソレカラ中村君モ明治元年ト云フコトニナラナケレバ、往カヌト云フコトデアリマシテ、地租改正以前ノ分モ、皆這入テ居リマスカタ云フコトヲ聽キマス、政府委員ハ地租改正以前ノモノハ、皆這入テ居ルト云フ答ヲセラレマシタ、サウシテ證據ノアッタモノハ、ソレハ下ルノデアリマスカタ云フ問ニ、其通デアルト云フ答デアアル、此委員會デナクテ、或ル處デ、先達テハ左様ナ答デアッタケレドモ、仙臺藩ノ如キハ、駄目

ダト云フコトヲ次官カラ承ツタ、公會ノ公然筆記ニ殘ルトキト、他ノ處デ言ハ
レタコト、違フト云フノハ、甚ダ奇怪ノコト、考ヘル、ソレカラ中村案ニ
據リマス、ト斯ウ云フコトガアル、既ニ處分ヲ受ケタモノト雖モ、新タニ事實
證據ヲ有スルモノハ、今ノ期限内ニ申請スルコトヲ得トアリマス、是モ私ガ
質問ヲ試ミタ、縱令裁判後ト雖モ事實アツタト云フモノハ、下戻スト云フ答
辯デアツタ、其故ニ其答辯ヲ信シテ、私ハ下戻サレルモノト思ッテ居リマス、
斯ノ如キモノハ成ルベク改正案ヲ、後トデ文案修正委員ニ於テ、大體ノ意旨
ガ變ラナカッタ、文章ヲ纏メルト云フコトニシタイ、決ノ採リ方ハ收益ヲ
入レル入レヌニ付イテ採リタイ、其他ハ西村君ノ言ハレタ通りスルガ便利ト
思ヒマス、是ハ委員長ニ注意旁、申シテ置キマス

○委員長(杉田定一君) ドウデゴザイマス、決ヲ採リマシテハ、ソレデ決ノ
採リヤウハ、西村君ノ先キニ御話ニナリマシタヤウニ、先ヅ關君ノ御出シニ
ナツタノハ、明治元年トアツテ、ソレカラ中村君ハ、廢藩置縣トアツテ、此
二ツト、サウシテ國有ヲ除クカ入レルカト云フコト、ソレカラ收益ヲ入レル
カ除クカト云フコト、ソレカラ關君又其他カラハ、來年六月限ト云フコトデ、
ソレカラ來年十二月ト云フコト、斯ウ二ツニナツテ居リマス、ソレカラ又
此地租改正ト云フ字ヲ削ルトナツテ居リマス、此點ニ附イテ、決ヲ採リマス、
此點デ決ヲ採レバ、後トハ分ルト思ヒマス

○(中村彌太郎君) 其採決ニ附イテ尙ホ一言致シマス、先刻高岡君ガ除カヌ
ト云フコトデ、國有云々ト云フコトハ、決ヲ採ルニモ及バヌト云フコトデ、
更ニ又委員長カラ、決ヲ採ルコトニナリマシタガ、如何ニモ御料局ト、明カ
ニ文字ハ、到底是ニ挿入ハ出來ナイト、斯ウ決シマシタ、國有ト云フコトハ、
省クト云フコトハ、極ク必要シヤラウト思ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) チョット一言申シテ置キマス、首藤君ニ御注意申
上ゲテ置キマス、私ハ聞損ヒマシタノデ、先日ドナタデアツタカ、私ニ御尋
ニナツタトキニ、往カヌト申シマシタ、ソレハ別ノコト、考ヘテ居リマシタ、
仙臺ノコトデアリマセヌカラ、チョット一言シテ置キマス

○(佐々木正藏君) 明治元年ト云フコトニ、私モ御同意ダケレドモ、現ニ修
正案ニ書イテ、即チ大體ノ趣意ハ、地租改正……

○委員長(杉田定一君) 決ヲ採リマスカラ、議論ハ御止メ下サイ、ソレデ第
一……

○(中村彌太郎君) チョット伺ヒマスガ、サウ致シマスルト現ニ國有ト御書合
セニナリマス、吾々ガ唯官有ニ編入サレタルト書キマシタノハ、御料ハ縱
令抜カシマシタ所ガ、他ノ第三者ノ手ニ渡ツタモノマデモ、含マセタイト思
フノデアリマス、西村君ハ官有ト云フコトヲ削ルト云フト、現ニ國有ト限ッ
テ居ルモノデ、第三者ノモノハ、含マヌト云フコトニナル

○(西村眞太郎君) 現ニ國有ト云フ積リデアリマス
○委員長(杉田定一君) 決ヲ採リマス、明治元年ト云フノガ、一番原案カラ

遠イノデアリマスカラ、廢藩置縣ヨリマダ遠イノデアリマスカラ——明治元
年ニ御同意ノ御方ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(杉田定一君) 十一名、多數デゴザイマス、サウシマス中村君ノ
國有ヲ除クト云フノガ、原案ニ最モ遠イノデアリマス、中村君ノ國有ヲ除ク
ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

リマシタ

○(西村真太郎君) サウスルト斯ウ云フコトニナリマス「明治元年一月以後官有ニ編入セラレ現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若クハ立木竹ハ處分ノ當時ニ付キ所有分収又ハ收益ノ事實アルモノハ此法律ニ依リ明治三十三年十二月三十一日マテニ主務大臣ニ下戻シノ申請ヲナスコトヲ得」

○(中村彌六君) サウスルト私ノ修正案ニ附イテ、決ヲ採ッテ戴カナケレバナラヌ、現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若クハ立木竹ニ付キ其當時ノ處分ト云フコトヲ置カレマシタ、此文中ヲ能ク文章中カラ、書キ現ハシテ見マスルト、考ヘテ見マスル所デハ、不必要デアッテ、又疑義ガ生ズル、其當時ニ置キマシテモガ、一旦ハ公有地ニ編入シマシテ處分ガ濟ンデ、明治十六年時分官ニ編入サレタモノガアル、其當時ノ處分デナクナル、ソレ故其當時ノ處分云云ト云フコトハ、不必要ト思ヒマスカラ、是ダケヲ除クト云フ意味ヲ以テ、御賛成ヲ願ヒマス、即チ「土地森林原野若クハ立木竹ニ付」トナルノデス

○農商務技師(村田重治君) 今ノ中村サンノ御意見ニ附イテ疑ヲ生ジマス、此明治元年一月以後ト云フコトニ、今委員會決シマシタガ、ソコデ此處分ノ當時ト云フコトガアリマスカラシテ、マダ多少宜シウゴザイマスガ、是ガ若シモ取レマスルト云フト、非常ナ差支ヲ起ス、即チ此第二條ノ六項ニ「私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタルコトヲ證スヘキ書面」斯ウ云フモノデゴザイマス、是ハ私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタルコト云フコトハ、即チ地租改正以前ニシタコトダケヲ、此法律デハ認メテ、下戻ヲスルト云フコトニナル、所ガ今中村君カラ御提出ニナッタヤウニナリマス、昨年開墾シテモ此下戻法ニ依ッテ、下戻ヲスルト云フ結果ガ出來テ來ル、サウスルト殆ド法律ノ精神ト云フモノヲ失ヒ、又非常ナ不理窟ナコトガ出來テ來ヤウト思ヒマスカラ、是ハドウゾ尙ホ御考ヘ下サレテ、御撤回ヲ願ヒタイ

○委員長(杉田定一君) 中村君ニ諮リマスガ、是マデ採ルト云フコトヲ御相談シテ、ソレデ宜カラウトナッタノニ、尙ホアナタガ、是ダケ一ツ採ルト云フコトデスカ

○(中村彌六君) 是ハ大關係ガアルカラ、特ニ之ヲ省イタノデ、今思ヒ立ッダノデハナイ、其當時諸君ノ御注意ヲ喚ビ起サナカッタハ、私ノ手落デゴザイマス

○政府委員(藤田四郎君) 元年一月ト云フハ、アリマセヌガ

○(西村真太郎君) ソレハナイノデス

○委員長(杉田定一君) サウスルト中村サンノハ「土地森林原野立木竹ニ付キ」トシテ、其處分ノ當時ト云フダケヲ削ルノデスカ

○(中村彌六君) 左様デス

○政府委員(藤田四郎君) 政府ハ反對デス

○委員長(杉田定一君) 中村君ノ「其處分ノ當時」ト云フ削ルニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ

舉手者 少數

○委員長(杉田定一君) 少數デス

○(中村彌六君) 尙ホ參考ニ聞イテ置キマスガ、昨年開墾シタルト云フモノハ、ドウ云フ事實ガアルカ、伺ヒタイ

○農商務技師(村田重治君) 今御修正ノヤウニナルト、サウ云フ結果ガ來ル、ソレハ……

○委員長(杉田定一君) 一項ハ、是デ決シマシタ、第二項ニ移リマス、二項ニハ、戸狩君佐々木君ノ修正ガアリマス、佐々木君ノハ「前項ノ期限ヲ經過シタルモノ」ノ下ニ「又ハ下戻ニ關シ既ニ處分ヲ受ケタルモノ」ト云フダケヲ削ルト云フノデス、是ニ付イテハ、中村君カラ修正案ガ出テ居リマスガ、中村君モ御賛成ノヤウニ認メマス、ソレデ關君ノ「前項ノ期限ヲ經過シタルモノ」ハ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フ方デ、決ヲ採リマス、是ニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

總舉手

○委員長(杉田定一君) 満場一致決シマシタ、第三項

〔原案通り〕ト呼フ者アリ賛成々々ノ聲起ル

○委員長(杉田定一君) 第三項ハ、原案ノ通ニ決シマス

○(出水彌太郎君) 二條ニ御移リニナルナラ、一條新ニ加ヘタイト云フ修正デス

○委員長(杉田定一君) ドウデス、二條ニヘ移リマスガ、二條ニハ、色々ノ修正ガアリマス

〔「食事シテカラ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(杉田定一君) ソレデハ喫飯後ニヤルコトニ致シマセウ

午後零時二十分休憩

午後三時三十八分開議

○委員長(杉田定一君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ、是カラ開會致シマス——段々委員諸君ノ内カラ、修正案モ御提出ニナッタテ居リマスガ、一々朗讀ハ致シマセヌ、朗讀ヲ省略致シマス

○(出水彌太郎君) 此第二條ノ前ニ、私ノハ更ニ二條ヲ入レテ、元ノ二條ヲ第三條ニ繰下ゲルト云フ修正ヲ出シテ置キマシタガ、此關君ト戸狩君ノ修正案中ニ、略々私ノト同様ナモノガ、籠ッテ居リマスカラ、私ノ分ヲ撤回シマシテ、此關君戸狩君ノ案ヲ先キニ致シマス、サウスルトアレダケ一ツ議スルコトガ、省略ニナリマス、字句ニ至リマシテハ、多少意見ガアリマス、ソレカラ此決ヲ御採リ下サレマスルニ附イテハ、此中村君ノ修正ノ意見デ、第八ト九ノ「主副產物ヲ收益シタル證アルモノ」其他從來ノ成績慣行上民有ト認ムヘキモノ」斯ウ云フコトガアル、ソレカラ關君戸狩君ノ修正説デ、七社寺上地ニシテ遞減祿ヲ受ケザルモノハ、官署ヨリ拂下又ハ下附ヲ受ケタル事實

ヲ証スベキ書面、是ガ又更ニ二ツ加ッテ居ル、其他ニ佐々木君ノ修正説モアリマスルガ、是ト此三ツヲ對照シマスルト、佐々木君ト中村君ノ修正案ハ證トアリ、關君ト戸狩君ノ書面ト、斯ウナッテ居リマス、第五項ノ書面若クハ實蹟ト云フコトハ、政府案ヨリ他ニ這入ッタダケデアリマス、ツレデ之ヲ中村君ノ二項ヲ加ヘルト云フコトガ一ツト、關君ト戸狩君ノ七八ヲ加ヘルカ否ナカト云フコトガ一ツ、ツレカラ證アルモノトスルカ、書面ニスルカ、斯ウ三ツニ御採リ下サレバ、此修正案ハ、一遍デ往カウト思ヒマス

○(島山雄三君) 二條ノ中例ヘバ一二三四ト、一項ツ、採ッテ往ケバ宜イト思ヒマス

○委員長(杉田定一君) チョット決ノ採リ方ヲ御話シ申シテ置キマスガ、今出水君ノ御話ノヤウニ、關君ノハ先ヅ證スベキ書面ト云フコトデ、原案ニ近イ方、ツレカラ中村君ト佐々木君ノハ、證アルモノトナッテ居ル、ツレデ此決ヲ採リマス

○(首藤陸三君) 此證アルモノト換ヘテ、御相談ノ上直シタト信ズル、サウデナカッデアリマス

○(戸狩權之助君) 是ハ矢張佐々木君ノ方ガ、宜カラウト思ヒマスカラ、私共修正意見ハ、訂正致シマシタ

○(首藤陸三君) 佐々木君ノ案、誰ノ案ト云フコトナシニ……

○委員長(杉田定一君) 是モ佐々木君ノモノ、又中村君ノト戸狩君ノト同ジヤウナコトデ、矢張違フ所ハ、中村君ノ第七ト第八トガ、他ニナイノデアリマス、ツレカラ戸狩君ノ遞減祿ト云フモノハ、中村君ト佐々木君トニハナイ、ツレダケ異ナル、ツレデ是ハ矢張決ヲ採ルニ、各項ニ付イテ、採ッタ方ガ宜イト思ヒマス、サウシナイト混雜スルト思ヒマス、矢張各項ニ付イテ、決ヲ採リマス

○(大久保鐵作君) 其前ニチョット伺ッテ置キマスガ、證アルモノト云フノハ、ドノ位ノ程度ヲ指シテ云フノデアリマス

○(佐々木正藏君) 程度論ニナルト事實問題ニナッテ、御答辯ニ苦シミマシガ、兎モ角モ所有權ヲ認メ得ベキ何カニ據ッテ、書面ナレバツレデ宜シイ、斯ウ云フヨリ他ナイ

○(大久保鐵作君) 矢張書面ヲ出スノデアリマス

○(佐々木正藏君) 書面ヨリ他ニ證スベキモノガアルマイト思ヒマス

○(大久保鐵作君) 書面ト書イテモ御差支ナイナ、前ノ議案ノ如クニ

○(戸狩權之助君) チョット訂正シテ置キマス、第二條ノ第一項ニ、斯ウ云フノガ這入リマス「所有分収又ハ收益」斯ウ這入リマス

○政府委員(藤田四郎君) 是モ反對デアリマス、左様御承知ヲ願フ、收益ト云フコトニ反對デアリマス、政府ハ……

○(佐々木正藏君) チョット社寺上地林ノコトニ付イテ述ベタイデスガ、出水君カラモ既ニ……

○委員長(杉田定一君) 其項ニナッテ述ベタ方ガ、宜シウゴザイマセウ

○(佐々木正藏君) 今修正説ヲ出水君カラ、出スト云フコトニナッテ居リマス

○(西谷金藏君) 私ハチョット政府委員ニ伺ヒマスガ、書面ト云フコトニ付イテ、政府ノ御考ハドウデゴザイマス

○農商務技師(村田重治君) ツレハ無論書面ト云フ積リデアリマス、唯證ト申シマス、今誰サンカ御話ニナッタ如ク、人證モ證ニナルカト思ヒマス、又色々形蹟ト云フモノモ、證據ト見ルコトガゴザイマセウ、サウ云フモノハ、政府ハ總テ採ラヌ考デアリマス、ツレデ今ノ御修正説ニ反對デゴザイマス、モウ一ツハ、第二條ノ方ニ「前條ニ依ル申請ニシテ左ノ一ニ該當スルモノハ下戻ヲナスヘシ」斯ウ云フ御修正案ガ、佐々木君カラ出テ居リマスガ、是ニモ同意ヲスルコトガ出來ヌデアリマス

○(戸狩權之助君) 其事實ヲ規定シテアリマシテ、即チ「前條ノ證據書類ニシテ所有又ハ分収ノ事實ヲ證スルニ十分ナリト認ムル」トキハ主務大臣ハ其下戻ヲナスヘシ」斯ウ云フ意味ニ、第二條ガ直リマスレバ、御同意ヲ致スノデゴザイマス、ツレドウ云フ譯デ、御同意ガ出來ヌカト申シマス、此唯證據ガ賣買ナレバ、賣買ト云フ證據ガ一本アリマシテ、ツレヲ又政府デ買戻シタカ、或ハ舊藩ノ際ツレヲ取上テシマッタト云フコトガ、隨分アルノデアリマス、賣買ノ證據ガアッタト、直グ其證據ガ正シイモノデモ、ヤルコトガ出來ヌコトガ澤山アル、又寄附ノ如ク色々寄附ニ種類ガアル、先日モ申上ゲタ通り、諸侯ノ寄附ト一個人ノ寄附トアッテ、一個人ガ寄附ヲシタモノハ、無論下戻シヲスル性質ガアルガ、諸侯ノ寄附ニナリマス、詰リ管領權ヲ移シタモノデアリマス

○(佐々木正藏君) 斯ノ如キモノハ、所有ト見認メルコトハ出來ヌコトニナル、唯斯ノ如キ證據アルモノハ、總テ下戻シヲ爲スト云フ文章デハ、到底同意ヲスルコトハ出來マセヌ

○(戸狩權之助君) 一体政府委員ハ、大變ニ間違ッテ居ルト思フ、何デモ同意ガ出來ヌ同意ガ出來ヌト云フガ、政府ノ今日ノ意見ハ、例バ此文章ハ文章ヲ爲サヌ、何故カト云フニ、苟モ法律トナルベキモノデアルノニ「前條ノ證據書類ニシテ所有又ハ分収ノ事實ヲ證スルコトヲ認メル時」ト云フテハ所謂認定權ヲ三條ニ入レテ置ク既ニ第二條ニ「左ノ各項ノ一ニ該當スルモノカアツタラ即チ下戻ス」ト云フコトガアル、若シ政府ノ云フダト、例ヘバ二條ニ是ダケノモノニ該當スルモノガアッテモ、ツレヲ認定スルダケノ十分ナルモノヲ認メナケレバ、戻スコトハ出來ナイト云フコトニナッテ參リマス、如何ニモ蛇足ナ法ニナル、サウシマスレバ第二條ノ左ノ各項ニ該當スルモノデモ、其證據ヲ十分ト認メナケレバ、下戻スコトハ出來ナイ、此證據ヲ認メルト云フコトハ、人ニ依ッテ違ヒマス、私ガ認メテモ、首藤君島山君ガ認メナイト云フコトモアル、苟モ法律トナッテ發布スル以上ハ、斯ノ如キ認定權ヲ置カ

レモノデハナイ、是ダケニ各項ノ一ニ該當スル證據ガアレバ、當然即チ人民ガ、其權利ヲ回復スルコトニナリマスカラ、其各項ノ一ノ證據ガアレハ、ソレデ宜イト云フコトヲ、明カニ規定シテ置カナケレバナライ、尙ホ不十分ダトカ、十分ダトカ、認定サセルノハ、甚ダ危険デアル、ドウシテモ此三條ハ、苟モ法律トシテハ不都合デアリマスカラ、丁度佐々木ノ意見ト同感ニナルノデス、第二條ニコレ、ニ該當スルモノト云フコトヲ極メナケレバ、法律ノ效用ハ無論ナクナラウト思ヒマス

○(佐々木正義君) チョット一言辯ジテ置キマス、証據ガナイト云フコトニ付イテ、政府委員ノ反對論モアリマスガ、實際ハ証アルモノト云フ方ガ、事實ニ適合スルと思フ、例ヘテ申シヌスルト第五ニ「私費ヲ以テ木竹ヲ植付ケ云々」トアル、ソレデ成程唯木竹見タヤウナモノヲ、何年何月ニ幾ラノ杉苗ヲ、幾ラデ買求メテ、何所ヘ植付ケタト云フコトヲ、一個人ノ大福帳カラ、ソレヲ見タ所ガ、成程植エタモノニハ相違ナカラウガ、果シテ何年何月ニ植エタ木ガ今日マデ生ヘテ居ルカ否ヤハ、或ハ吏員ヲ派シテ、其山ハ果シテ人工ニ成立ッタモノカ、若ハ果シテ人工ニ成立ッタモノナレバ、年代ガ合フカ否ヤハ、其木ヲ伐採シテ木理ヲ尋ネテ、大福帳ノ年限ト實際比ベテ、果シテ相當デアルト云フコトヲ認メテ、下戻スガ今日ノ事實デアル、必ズシモ書面バカリデ、實際ニヤッテ居ルカト云フニ、サウデハナイ、サウ云フ木ヲ伐ッテ、木理ヲ數ヘルコトハ、書面ニ疑ノアルトキハ、ヤラナケレバナリマセヌカラ、必ズシモ書面ト云フコトヲ嫌ハヌデ、書面ト事實ト符合スル所デ、下戻シノ證據ト云フコトニ、認メルト云フ考ヲ持ッテ居マス、今ノ第二條ハ戸狩君ノ云フ通り、法律トスル以上ハ、矢張明カニシテ、以前ニ所有權ガアッタガ、其中ニ取上ゲタモノカモ知レナイト云フ議論モアリマシタガ、ソレハ矢張所有權ガナイノデス、賣買讓與質入書入ト云フ證明ガアツテモ、其後又官ニ買上ゲラシタト云フコトガアレバ、ソレヲ證明スルカラ、其證據ノ部分ニナリマスカラ、少シモ私ハ懸念ハナイト思フ——矢張法律ノ效能ハ、存シテ居ルト思フ

○政府委員(藤田四郎君) チョット御相談ヲ致シマス、佐々木君戸狩君ハ「前條ニ依ル申請ニシテ左ノ一ニ該當スル所有又ハ分收ノ事實ヲ証スルニ足ルヘキモノナレハ」ト云フコトノ意味ガ、茲ニ這入レバ、宜シウゴザイマスガ、別ニ此「認メル」ト云フ字ヲ固執スルト云フ譯デハナイ、併ナガラニ一條ガアツテ、三條ノ政府案ニアリマスヤウナモノガ、ナクナッテシマヒマス、佐々木君ノ御考通り、事實ニハ合ヒマセヌト思フ、詰リサウ云フ一項カラ七項ノコトガアツテ、サウシテ所有ト認メル場合、分收ト認メル場合トナレバ宜シイノデ、強ヒテ「認メル」ト云フ字ニ付イテ、固執スルノデハナイ、該當シタレバ直チニ何スル譯ニナリマスコトハ、第一條ニアリマスコトハアリマスケレドモ、又茲ニ出テ居マス、是レ不十分ノヤウニ思ヒマスカラ、今少シク文字ヲ御加ヘ下サルコトヲ願ヒタイ、第二條ノ始メノ所ヲ、モウ少シ詳シクシテ貰ヒタ

イ即チ「左ノ一ニ該當スル證據ヲ有シ民有ニ歸スヘキモノハ下戻シヲ爲スヘシ」

○(戸狩權之助君) 其文章ノ通りニスレバ、御話ノ如ク同意ヲセヌ杯ト云フ苦情ハナイノデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 強ヒテ反對ハシマセヌ——其他デスカ、外ニハ反對ハ幾ラモアリマスガ、今ノヤウニナルト佐々木君ノ趣意デ、絶對ニ反對ハゴザンセヌ

○(首藤陸三君) 今御辯明ニナッタ通りデナケレバ、同意スルコトハ出來ナイト云フノデスカ、政府ハ……

○政府委員(藤田四郎君) 此二條中ニハ、今位ノコトガ這入ッテ居ッタ方ガ、宜カラウト思フノデス

○(首藤陸三君) ドウモ意味ニ於テ、少シモ變ハリガナイト思フガ、如何デセウ、御熟考ヲ願ヒタイ

○(島山雄三君) 私ハ今御述ベノヤウニスルト、證據デ押サヘラレルカラ違フト思フ、事實アルモノト云フノト、證據ヲ有スルモノトハ、實際調ベル場合ニ、餘程相違ガ出來テ來ルト思フ

○(西谷金藏君) 私ハ此二條ノ書方ニ附イテ、唯今ノ政府委員ノ意見ニ同意スル、ソレデ斯ウ云フ具合ニ文章ヲ直ス「左ノ一ニ該當スル證據ヲ有シ民有ニ歸スル」ト云フコトニ致シタイ

○(福田久松君) 私ハ「此民有ニ歸スヘキ」ト云フ文字ヲ入ル、ノハ、可笑イト思フ、下戻ヲナスト云フノハ、既ニ民有ニ歸スルニ極マッテ居ルノデアルカラ、重ネテ「民有ニ歸ス」ナンテ云フ文字ヲ入ル、ノハ、アンマリミットモナイト思フ

○(戸狩權之助君) 私ハ「左ノ一ニ該當スル證據アルモノハ」ト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○(前島丈之助君) 先刻第一條ノ證據ト云フ字ヲ取ルトキハ、タッタ一名デ削除スルコトニナリマシタガ、吾々共ハ全體證據ハ、當然置ク積リナンドス、復活シマシタラドウデスカ

○(モウ濟シタ) ト呼フ者アリ

○委員長(杉田定一君) 是ガ折合ガ付カスト云フナラバ、矢張佐々木君ノ説ヲ採ッテ、ソレガ往カストキハ、第二ノ説ヲ採ル、斯ウ云フコトニスルヨリ外ナカラウト思ヒマス、第二條佐々木君ノ修正ノ「前條ニ依ル申請ニシテ左ノ一ニ該當スルモノハ下戻ヲ爲スヘシ」ト云フニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲデ下サイ

○委員長(杉田定一君) 多數、是ハ可決ニナリマシタ、佐々木君ノ修正説ニ決シマス、ソレカラ今度ハ、矢張裏ニ申シタ通、一々採ッテ往キマス、第一「公簿若クハ公書ニ依リ所有分收又ハ收益ノ事實ヲ證スルモノ」其項ニ附イ

○委員長(杉田定一君) 多數、是ハ可決ニナリマシタ、佐々木君ノ修正説ニ決シマス、ソレカラ今度ハ、矢張裏ニ申シタ通、一々採ッテ往キマス、第一「公簿若クハ公書ニ依リ所有分收又ハ收益ノ事實ヲ證スルモノ」其項ニ附イ

○委員長(杉田定一君) 多數、是ハ可決ニナリマシタ、佐々木君ノ修正説ニ決シマス、ソレカラ今度ハ、矢張裏ニ申シタ通、一々採ッテ往キマス、第一「公簿若クハ公書ニ依リ所有分收又ハ收益ノ事實ヲ證スルモノ」其項ニ附イ

○委員長(杉田定一君) 多數、是ハ可決ニナリマシタ、佐々木君ノ修正説ニ決シマス、ソレカラ今度ハ、矢張裏ニ申シタ通、一々採ッテ往キマス、第一「公簿若クハ公書ニ依リ所有分收又ハ收益ノ事實ヲ證スルモノ」其項ニ附イ

テ、是ハ異議ナシデスカ「公簿若クハ公書ニ依リ所有分収又ハ收益ノ事實ヲ證スルモノ」

○政府委員(藤田四郎君) 收益ハ反對デゴザイマス、是ハドウカ御削除ヲ願ヒマス、佐々木君ノ通りニ、ドウカ願ヒマス

○委員長(杉田定一君) 併シ佐々木君ノハ、出テ居マスガ、中村君カラモ、斯ウ云フコトガ出テ居リマス——是ハ異議ナク可決ニナリマシタ、サウシマスト云フト「公簿若クハ公書ニ依リ所有分収又ハ收益ノ事實ヲ證スルモノ」是ガ可決ニナッタデアリマス、今度ハ第二項ノ「高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノ」

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○(畠山雄三君) 證據ト云フノハ……

○(佐々木正義君) 高受ト云フ證據ガアツテモ、ソレダケデモ、ヤツテ宜イト云フコトニ認メラレテモ、サウスルト地租ヲ納メタル證據ガアル、ソレデモ認メラレル、斯ウ云フ意味ナンデス

○委員長(杉田定一君) 第二ノ決ヲ採リマス第二ノ「高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノ」是ニ御同意ノ御方ハ、手ヲ御擧ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(杉田定一君) 多數、可決ニナリマシタ、第三ガ「官ヨリ拂下ケ又ハ下付ノ證アルモノ」

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(杉田定一君) 可決ナリマシタ、第四「賣買讓與質入書入寄附等ノ證アルモノ」

○(津野常君) チョット質問致シマス、此原案ニモアリマスルヤウデスガ、寄附ト云フコトハ、舊藩時代ニ於キマシテ、此藩主ニ御納戸役、或ハ人民カラ献上シタ竹木ガアルノデスガ、其献上モ矢張此寄附ノ中ニ、包含シテ居ルモノト心得テ宜シウゴザイマセウカ

○農商務技師(村田重治君) 第三項ハ、今御尋ノコトハ御尋ノ通デゴザイマスガ、此案ハ關君ノ御出シニナツテ居ル案ニ、御同意ヲシタイノデゴザイマス、ソレデ殊更ニ所有又ハ分収ノ事實ヲ證スルト云フコトヲ入レタノハ、今ノヤウナ疑ガアリマスカラ、入レテアルノデゴザイマスカラ、是ハドウゾ關君ノ御修正ニ成リタル様ニナルヤウ願ヒタイ

○委員長(杉田定一君) チョット關君ノ方ヲ讀ミマス「賣買讓與質入書入寄附等ニ依ル所有又ハ分収ノ事實ヲ證スルモノ」サウシマスト是ニ依ッテ、決ヲ採リマス、此關君ノ修正說ニ御同意ノ御方ハ、手ヲ擧ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(杉田定一君) 多數、關君ノ修正ノ通ニ可決ニナリマシタ、サウシマス此度ハ、第五ニ移リマス「木竹又ハ其賣却代金ヲ分収シタル証アルモノ」

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(杉田定一君) 御異議ガアリマセヌケレバ、可決ニナリマシタ第六ニ移リマス、「私費ヲ以テ木竹ヲ植付ケタル證アルモノ」

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(杉田定一君) 御異議ガナリマセヌケレバ、可決ニナリマシタ第七ニ移リマス、「私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタル証アルモノ」

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(杉田定一君) 御異議ガゴザイマセヌケレバ、可決ニナリマシタソレカラ關君ノガ、此處ニ出テ居リマス、社寺上地ニシテ遞減祿ヲ受ケザルモノ、此ノ事ノ議ニ移リマス

○政府委員(藤田四郎君) 此遞減祿ニ附イテハ、政府ハ反對デアリマス、ソレハ御承知ノコト、思ヒマスルガ、遞減祿ヲ受ケテ居ルモノハ、寺ニ對シテ分収權利ノアルモノガ、皆ナ遞減祿ヲ受ケタモノデ、受ケベカラザルモノニ遞減祿ハヤラヌデアリマスカラ、ドコノ寺ニモ遞減祿ヲ貰フベキモノデハアリマセヌ、併ナガラ遞減祿ヲ貰フタ居ルノハ、數千軒モアリマスカラ、ソレハ數年ノ間調ベテ調ヒマシタノデゴザンシタ、故ニ寺ノ所有トナルベキ處、即チ耕シテ稅ヲ納メタト云フヤウナモノニ致シマシタハ、是ガナクテモ所有權ニ歸スベキモノデアルト云フノデ、當時遞減祿ヲ渡シテシマハレタノデアリマスカラ、其他以外ノモノニ附イテ、遞減祿ヲ貰フベカラザルモノガ、其實ハナシタモノマデ、ヤルト云フコトハ出來ヌデアリマス、又社寺ノ維持ト云フコトニ附イテハ、佐々木君ガ御話ニナツタ通りニ、社寺ヲイシメルト云フヤウナコトハ、セヌノデ、務メテ保護スル方針ハ、採ルノデアリマス

○(關信之介君) 私共ハ此原案ヲ維持スルノデスガ、維持スルニ附イテ、政府ノ明言ヲ得テ置キタイト思ヒマスガ、林野法ノ十七條ニ於テデスナ、讓與スルコトガ出來マスカ、ドウデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 相當ノ事柄ナラ、相談スル積リデアリマス

○(出水彌太郎君) 唯今ノ政府委員ノ御話デゴザイマシタガ、私が調ベテ居ルノデハ、遞減祿ト云フモノハ一社三寺トハ思ッテ居ラヌノデス、ソレハ此遞減祿ヲ貰ッテ居ルト云フモノハ、或ハ朱印寺トカ、黒印寺デナクシテ、社寺ノ上地林ニ對シテ、遞減祿ヲヤッタノデアル、ソレハ明治八年ノ太政官八十九號デ、社寺ノ上地ニシテ、詰リ草高ノナイ所ハ、遞減祿ヲヤルト云フ達ガ出テ居リマス、ソレデ報告ニ依ッテヤッタモノハ、一社三寺ノ其他ニモヤラナケレバナラヌノニ、ヤラナカッタト云フ事實ニナツテ居ル、併シ今ノ佐々木君ノ御話ノ如ク、社寺ノ所有權ヲ極メルノハ、其社寺ガ濫伐スル等ノコトガアツテ、國土保安トカ、風致ヲ害スルヤウニ、ナツテハナラヌカラ、サウ云フコトニハセヌト云フ法案モ出シマシタガ、ソレハ不幸ニシテ議ニ附サナイト云フコトニナツテ居リマスカラ、私ハ關君ノ提出ニナツタ第七ハ、絶

對的ニ贊成スルノデアリマス

○(西村眞太郎君) アレハ一社三寺ダケデスカ

○政府委員(藤田四郎君) ツンナコトハアリマセヌ

○(出水瀾太郎君) 私ハ内務省カラ證據ヲ取ツテ居リマス

○政府委員(藤田四郎君) ツレハ當時別ニ土地致シタ中ノ、朱墨印寺以下ノ社寺ニ於キマシテ、開墾其他ノコトヲ致シタモノニ對シテ、遞減祿ヲ與ヘマシタ

○(中村瀾六君) チョット提出者ニ御尋致シマスガ、是ガ單純ニ茲ニ書イテアルダケデアルト、出水君ノ御説ノ如クデアルト、此修正案ト云フモノ、實行ノ上ニ於テ、マルデ反對ノ結果ヲ起シハセヌカト云フコトガアリマスカラ、御尋スルノデスガ、成程原野ニ對シテ、特ニツレダケノ遞減祿ト云フモノヲ出サナカッタモノモゴザイマセウケレドモ、唯社寺ノ土地ニ對シテ、遞減祿ヲヤッタト云フモノ、或ハ門前百姓ヲ置イタトカ、寺自身ガ開墾シタト云フモノハ、大變ノ數デアツテ、其寺ハ是非保存シナケレバナラヌトカ、此寺ヲ永遠ニ存シテ置キタイト云フヤウナ、多少世人ノ認メテ、必要ト見ルヤウナ處ニハ、必ラス遞減祿ガ出シテ居リマス、多少ニ拘ハラス出シテアル、若シ是デヤルト、事實ノ上ニ於テハ、モウ斯ナ寺ハ、ナクナツテモ宜イ、斯ナ社寺ハ、ドウナツテモ宜イト云フノガ、多クハ貫フヤウニナツテ、肝腎ノ保存シテ往カナケレバナラヌモノハ、却ツテ此法案デ貫ハレナクナツテシマフト云フ事實ノ上ニ、反對ノ結果ヲ生ジマスガ

○(關信之介君) 唯今ノ中村君ノ御心配ノヤウナコトハ、ナカラウト思フト云フモノハ、元ト所有權ノアツタモノデ、今日非常ニ貧乏シテ居ル寺デモ何デモ、以前持ツテ居ッタト云フモノナレバ、之ヲ返スト云フノガ、本案ノ趣意デアルカラシテ、若シ無主ノモノナレバ、官物ニナルノハ當然デアルガ、主ノアル限リハ、返シテ差支ナイト思ヒマス

○(西村眞太郎君) 此遞減祿ガ、一社三寺ト云フコトデアルカナイカ、其解釋ノ疑カラシテ、出水君ガ贊成セラル、ノモ、提出者ニ於テ其意思ラシイノデスガ、政府委員ハ遞減祿ヲ與ヘタモノハ、澤山アルト云フノデスナ、其コトガハッキリセヌト、解釋ノ上ニ大變ニ影響ガアラウト思ヒマス、吾々ガ聞ク所ニ依レバ、遞減祿ヲ與ヘタノハ澤山アル、其與ヘタ金額ハ極ク僅カデア、遞減祿ハ社寺ノ土地森ガ、百萬圓ノ値打ナレバ、ツレニ對シテ遞減祿ハ、僅カニ現價千圓カ貳千圓與ヘテ居ル、吾々ガ現ニ或ル地方ノ所ノコトヲ能ク承知シテ居リマスガ、其方ニ對シテ千圓バカリノ遞減祿ヲ與ヘテ居ル、然ルニ山ノ代價ハ百萬圓内外デア、サウスルト遞減祿ヲ貫フテ居ラナケレバ、此法律ノ恩澤ニ依ツテ、百萬圓ヲ社寺ニ下渡スコトニナル、其遞減祿ヲ貫ハナイモノダケ貫フコトニナルト、遞減祿ヲ貫フテ居ル者ハ迷惑ニナル、一社三寺ト云フコトヲ以テ目的トシテ、此法律ヲ設ケタナラバ……

○(出水瀾太郎君) 是ハ私ガ内務省カラ持ッテ來タモノガアリマス、是デ(此

時書類ヲ示ス)——ソレデ唯今中村君カラ御話モアリマスシ、關君ノ提出案ノ第七、是ハ絕對的ニ贊成デハアルガ、少シ文字ヲ變ヘヌト、中村君ノ辯ゼラレタ害ガ生ジャウト思フ、ソレデ社寺土地境界地ニ對シ遞減祿ヲ受ケザル者ト、斯ウ改メルト一社三寺ノ外貫ヘルコトニナル

○内務省社寺局長(斯波淳六郎君) 私カラチヨット申シマスガ——此七年九月布告第九十二號デ、社寺土地ニ對シ遞減祿給與ノ制ヲ定メマシタ、但シ官國幣社ハ除イテアツタ——一社三寺ハ是ノ内デス、八年六月太政官達第九十八號ヲ以テ、草高ナキ除地ハ實際ノ收納高ヲ標準トシ、又社寺祿ノ内折半高米一升金拾錢未滿ノ分ニ對スル祿制ヲ定メマシタ、是ガ即チ草高ナキ除地ハ、實際ノ收納額ヲ土臺ニシテ、遞減祿ヲ與レルコトニナツテ居ル、八年九月大藏省達ヲ以テ、除地等ノ名義アルモ舊藩主地頭ハ勿論古昔武將及舊幕府等ヨリ社寺ニ寄付セル土地ニシテ封土奉還ノ内ニ含有スル分又檢地帳等ニ高外ノ証ナキ分ニハ遞減祿ヲ下附セズト定メラレタ、是ハ即チ下付ニナツテ居ラヌ分デス、其次ハ參考トシテ御話申シテ置キマスガ、十二年十月太政官達第四十一號ヲ以テ、社寺遞減祿ニ就キ調達或ハ脫漏ノ旨ヲ以テ給與及引直方申出期限ヲ本年十二月廿五日ト限リ、以後採用セザルコトヲ定メラレマシタノデス

○(西村眞太郎君) チヨット更ニ御尋致シマスガ、第二條ニ於テ其項目ヲ、遞減祿ヲ下附セザル社寺ト云フコトニ極メタラドウナリマスガ

○内務省社寺局長(斯波淳六郎君) 私ノ調デハ、遞減祿ノ下附ナキモノハ、官國幣社、次ハ草高ナキ除地ノ土地等ニシテ實際ノ收納高之レナキモノ、第三ハ土地中封土奉還ノ中ニ含有スルモノ、第四ガ除地等ノ名義アルモ檢地帳等ニ高外ノ證ナキモノ、是ガ即チ遞減祿ヲ下附セザルモノニ當リマス

○農商務技師(村田重治君) 是ハ大變大問題デアルカラ、御熟考ヲ願ヒタイト思ヒマス、第七項御修正案ニ付キマシテハ、妙ナ感ジヲ持ツテ居ルト云フモノハ、遞減祿ヲ受ケナイモノハ、所有權ヲ得ルト云フコトニナルト、第一遞減祿ト云フモノハ、何ノタメニヤッタノデアルカト云フコトヲ御考ヲ願ヒタイ、遞減祿ハ從來社寺ガ管理シテ、居ツテ、居ツタ時分ニ人民カラ、社寺ガ收納ヲ取ツテ居ツタ、今度政府ガ取ツタメニ、遞減祿ノ代リニヤッタモノデア、ツレデ詰リ社寺ト云フモノハ、所有權ガナカッタガ、今人民ノ所有權ヲ社寺ガ管理シテ居ツタ、其報酬トシテ社寺ガ、諸侯ト同ジ收納ヲ取ツテ居ツタ、其收納ヲ取ツテ居ツタト云フコトヲ、今度政府ガ直接ニ管理シタメニ、引上ル代リトシテ、遞減祿ヲヤッタ、ツレデ一般ノ士族デ云フト、諸侯デ云ウテモ同ジデア、祿制ト云フモノヲ定メテ土地ヲ包含サセタト同ジコトデ、若シ斯ウ云フ理窟デヤルナラバ、舊藩ノ祿制ヲ取上ゲタト云フモノガ、ドウ云フ譯デ取上ゲタ、假リニ舊藩ノ祿制ニ向ツテ、公債證書ヲ取ラナイモノガ居ツタナラバ、今度所有權ヲ與ヘルト云フコトニナル、例ヘバ鹿兒島藩ガ間違ツテ、其時祿制ヲ貫ハナカッタト云フモノガアタツナラバ、今度大變ニ

幸ヲ得テ、從來ハ管理權シカ持ツテ居ラヌモノガ、所有權ヲ得ルコトニナル、誠ニ不都合ノ法律トナツテ來ル、少シ考ヘマス丁度此頃ノ秩祿處分ノ案ガ出タヤウニ、其時ノ苛酷ヲ今日匡濟スル趣意ナラバ、格別ノ途ヲ以テ遞減祿ヲ更ニ渡ストカ云フコトナラバ、別段ノ問題デゴザイマス、併シ遞減祿ヲ貫ハナイ爲メニ、所有權ヲ得ルコト云フコトハ、不都合千萬ナコト、考ヘル、ソレデ社寺ノ遞減祿ヲ貫ハナイモノニ、所有權ヲ與ヘルコト云フコトハ、少シモ理窟ノナイコトデアリマスカラ、是ハ絶對的反對セザルヲ得マセヌ

○(出水彌太郎君) 私ハ唯今政府委員ノ御話デ、益々政府ノ方針ガ、此社寺ニ對シテ舊藩ノ封土ト同シヤウニ、境外林野ヲ見テ居ルト云フコトヲ疑フノデス、何故トナレバ今遞減祿云々ト言ハレマスガ、遞減祿ハ貫ツテ居ル、貫ツテ居ルガ、社寺ノ領地ニ對シテ貫ツテ居ルケレドモガ、境界林地ト云フモノト、封土ト云フモノハ、成立チガ違フノデ、即チ社寺ノ私有物デ、舊藩ノ封土ト同視スベカラザルモノデアアル、故ニ之ヲ取ツタト云フノハ、頭デ惡ルイ、社寺ニ置カナケレバナラヌモノヲ、取ルノハ惡イノデアアルガ、併ナガラ其時分ニハ、ソレヲ拒ムト云フダケニ、人權モ伸ビテ居リマセヌカラ、御無理御尤モデヤツタノデ、今日此法ヲ制定スルニ當ツテハ、ソレダケノ誤リガアルト云フコトヲ正シテ、社寺ニ戻シテヤルト云フノガ當然デアアル、併ナガラ之ヲ社寺ニ戻スト、濫伐ガ起リマスカラ、之ヲ戻スト云フコトニナレバ、社寺ノ境外ヲ取締メルト云フノ規定ヲ持ヘタイト思フノデ、政府ノ考案ハ、甚ダ當ヲ得ナイト思ヒマス

○(高岡忠郷君) 私ハ出水君ノ御意見ハ、至當ノコト、考ヘマスカラ、之ヲ贊成致シマス

○(西村眞太郎君) 此社寺土地ノ遞減祿云々ノコトハ、政府ハ林野法ノ十七條ニ於テ、大ニ見ル所ガアルト云フコトデゴザイマスカラ、私ハ國有林野法ノ十七條ノ決定スルマデハ、下戻法案ノ二條中ニ於ケル、此一項ヲ延期スルコトヲ希望致シマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○委員長(杉田定一君) サウシマス遞減祿ノコトハ、林野法ノ十七條ヲ讀スルマデ、延期スルト云フコトニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 多數

○委員長(杉田定一君) 多數、サウシマス中村君ノ修正説ガ、殘ツテ居リマスカラ、決ヲ採リマス、中村君ノ「主副產物ヲ收益シタル證アルモノ」是ニ御同意ノ方ハ、手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(杉田定一君) 多數、可決ニナリマシタ、モウ一ツ中村君ノ修正説ガゴザイマス

○(中村彌六君) 私ハ修正者トシテ、第九ノ修正ノコトヲ簡單ニ申上ゲマス、ドウシテモ列記法ニナリマス、此一箇條ヲ加ヘマセヌト云フト、大變ニ不

幸ニ陷井ルモノガ出來テ參リマス、何故ト申シマス、實際此成績慣行上ヨリシテ得ラヌコトガゴザイマス、故ニ是ダケノコトハ、茲ニ「證アルモノ」認ムヘキモノ「トゴザイマスガ、即チ其所以デゴザイマス、隨分ニ永年ノ間成績慣行上ニ於テハ、主產物モ取ツテ來ル、副產物モ自由ニ取得シタモノデゴザイマシタモノガ、不幸ニシテソレダケノ證據ノナイモノハ、此法律ニ浴スルコトガ出來マセヌ、即チ是ダケノコトハ、行政官ニ認定權ヲ與ヘルト云フコトガ、適當ノ仕方ト考ヘマス

○(首藤陸三君) 是ハ前ノ議會ニ於キマシテモ、其通りニ決定シタノデアリマスカラ、中村君ノ説ニ贊成致シマス

○委員長(杉田定一君) 中村君ノ「其他從來ノ成績慣行上民有ト認ムヘキモノ」——是ニハ別段御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(杉田定一君) 可決ニナリマシタ、サウスルト先キカラ順ニ番號ハ極メルコトニ致シマス

○委員長(杉田定一君) 第三條ハ削除

○內務省社寺局長(斯波淳二郎君) チヨット申シマスガ、第三條ニ元ト但書ガ這入ツテ居ッタノデ「第三者ニ對シ讓渡ノ契約ヲ爲シタル者又ハ埋立ヲ許可シタル公有水面ノ敷地ハ此限ニ非ラス」ト云フ規定ガ、第三條ノ但書ニ這入ツテ居ッタ、此第三條ノ但書マデモ御削リニナツタ御趣意ト云フモノハ、或ハ此四條ノ二項即チ「前項ニ依リ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得シタル者ハ其ノ土地森林原野若クハ立木竹ニ關シ第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス」此事ガアルカラ、別段此但書ハ要ラヌト云フ方ノ御趣意デ、第三條ト云フモノハ削ラレタモノト心得テ差支ナイノデアリマスカ

○(關信之助君) サウデス

○內務省社寺局長(斯波淳二郎君) 其事ニ付イテチヨット申上ゲマスガ、此第三者ニ對シ讓渡ノ契約ヲ爲シタルモノト申スノハ、時ニ或ハ新タニ道路ヲ開ク——開築ヲスルト云フトキニ、舊道路ガアッタ、サウスルト其舊道路ヲ廢止スル、廢止シタ舊道路ハ最早要ラヌモノデアアルカラ、或ハドコノ町村ニ是ハ渡シテシマフト云フヤウナ約束シテアル所ガ現ニアルノデゴザイマス、ソレラノモノニナツテ來ルト、是ガ第四條ノ二項ニアルモノトハ、餘程趣異ニ致シマシテ、ソレ等ノ者ニナルト云フト、共ニ申請ヲシテ之ヲ下戻ヲ受ケタト云ウテモ全ク自分ノモノトシテハ、毫モ效ガナイモノニナツテシマフ、ソレカラ此「埋立ヲ許可シタル公有水面ノ敷地ハ此限ニ非ラス」最モ同様デ、埋立ヲ許可シタト云フテモ、ソレヲ埋立シタモノハ、自分ノ所有ニナルト云フノデゴザイマスカラ、之ヲ若シ下戻ヲ受ケタモノガアルナラバ、ソレニ對シテ第三者即チ其許可ヲ受ケテ居ル者ハ、況ヤソレダケ埋立サヘスレバ、自分ノモノニナツテシマフト云フコトニナルモノデゴザイマスカラ、畢竟ハ下戻ヲ受ケタル者ハ、何モ利益ガナイト云フコトニナツテシマフ、ソレデ第四條

ノ二項ハ、幾分カ利益ノアル法文、第三條ノ但書ト云フモノハ、マルデ申請ヲシタ者ハ下戻ヲ受ケテモ、他人ノ處ヘ行ッテシマフノデアルカラ、マルデ利益ノナイモノデアル、殆ド申請ヲスル必要モナイヤウナモノデアル、ツレデアルノデスカラ、私ハ此但書ヲ入レマシテ、サウシテ第四條ノ二項ト別ニシテ置キタイノデゴザイマス、是ヲ此内ニ含ムト看做シマスルト、此中ニハ申請スル必要ガナイモノトシテ、申請シナイモノガアルヤウニナッテ來ル、別段同ジク明カニスルナラバ、但書ノ文句ダケハ別ニシテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、要スルニ明カニスルヤ否ヤト云フノデアリマスカラ、御再考ヲ願ヒマス

○(中村彌六君) 政府委員ノ御話デゴザイマスガ、決シテ但書ノアリマスモノハ、下戻ヲ請求シテモ、ツレダケノ特權ハ出來ナイト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ大ニ利害ノアルコトデアル、御承知デナイカハ知リマセヌガ、從來ノ民有地ノ如キモノデ、村持ト云ッタヤウナモノデ、官有ノ原野ニ編入サレタ上ニ於テ、豫約開墾ナドヲシタ者ガアル、豫約開墾ナドヲシテ、此又開墾ト云フコトハ、唯名ノミニシテ實際開墾モ何モ出來ナイノガアル、即チサウ云フモノハ内務省ノナシデアリマスカラ、埼玉縣カラ茨城縣ヲ御廻リニナッタ分ル、大概少シク肩書ノアル人ノ豫約開墾ハ、皆シナツンナモノデアアル、サウ云フ所ハ今日十箇年ナラ十箇年ト云フ開墾豫約ヲシテ居ルケレドモ、鐵モ入レヌヤウナ所ガアル、是等ハ即チ縱令契約ヲシタイト雖モ、請求ノアルモノデアラナラバ、勿論其者ガ受ケタナラバ、開墾モ出來、大ニ利益ガアル、豫約開墾者ト云フ者ハ、別段ツレダケノ契約ヲ履行シテ居ラヌノデスカラ、殊ニ斯ウ云フモノガアッタラ、荒廢地ニナッテ居ル、モウ大概伯爵トカ侯爵トカ云フ人ハ、那須ノ原ヘ往ッテ見テモ分ル、内務省ヘハ開墾シタト云ッテ、嘘ヲ吐イテ其實皆契約ニ違反シテ居ル、政府モ認メテ居ル、サウ云フ者ハ既ニ拂下ニナッタモノハ仕方ガナイガ、今其誠ニ不當ナルコトヲ進行シツ、アルモノハ、之ニ依ッテスツカリ申請者ハ十分ノ權利ヲ得ルト云フコトニナル、現ニ茨城縣ノ女化ケ原ノ如キモノモ、其例デアアル

○委員長(杉田定一君) 決ヲ採リマス、第三條ノ削除ニ御同意ノ御方ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 多數

○委員長(杉田定一君) 全會一致——第四條ハ原案ノ通り異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(杉田定一君) 可決致シマシタ、原案ノ第五條

○内務省社寺局長(斯波淳六郎君) 此事ハ前ノトハ餘程違ヒマシテ、内務省ノ側デハ餘程困難ヲ感シテ居ル條デアリマス、成ルベクハ之ヲ舊ニ復スルコトヲ希望致シマス、若シ復サナケレバ、其點ニ私ハ不賛成ヲ致サナケレバナラヌ、チヨット申上ゲマスガ、斯ウ云フモノハ「社寺境界ニ供シタル土地森

林原野若クハ立木竹ハ下戻ヲ爲シタル後ト雖モ無償ニテ其ノ公用又ハ社寺境内ニ供セラル、モノトス」此公用ト申セバ、道路堤塘溝渠ナドガ一番重モデ、サウシテ公用ダト、官有地ヲ公用ニ供シテ居ルノデアル、ツレデ官有地ヲ公用ニ供シマシテ、若シ其公用ノ必要ノナイ時ニハ、或ハツレヲ又止メルト云フコトモ出來ルノデス、所ガ茲ニ今度ノ修正ノ二項デ、第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ、下戻ヲ受ケタルモノハ承繼スルコトニナッテ居リマスカラ、或ハ此條ガアルカラ、此五條ト云フモノハ、必要ガナイト云フヤウナ御考ヘカモ知レマセヌガ、此公用ニ供シ或ハ社寺ノ境内ニ供シテ居ルノハ、第三者即チ其社寺ナラバ其社寺、此社寺ト云フモノガ、國ニ對スル權利ヲ持ッテ居ル、或ハ公用ト申シテ道路デゴザイマス、道路ナドデモ、ツコヲ通行スル權利ガアルトシマスレバ、堤内ノ權利ハ、國ニ對シテ持ッテ居ル方ノモノデナイモノデアリマスカラ、若シ之ヲ下戻ヲ受ケタル人ガ、政府ノ持ッテ居ル權利義務ト、同様ナモノヲ繼承シテ往クコトニ致シマスルト、其人ハ或ハ道路ガアッテモ、其道路ヲ潰スト云フコトモ出來ルカモ知ラヌ、社寺境内デアッテモ、或ハ其社寺境内ヲ有シテシマフト云フコトモ出來ルカモ知ラヌ、サウナッテ來ルト餘程内務省ノ側カラ申スナラバ、非常ナ混雜ヲ生ズルコトデアラウト思フ、ツレデ若シ之ヲ削除セラル、御意見ガ、果シテ此修正ノ三條ノ二項ニ依ッテ、ドウニカ仕事ガ出來ルデアラウカラト云フ方ノ御考デアラナラバ、ドウカ此五條ヲ活シテ置イテ戴クヤウニシタイモノデアアル

○(中村彌六君) 私ハ是ハ削除シテ宜イト云フノハ、元公有デゴザイマス、政府委員ノ御話ノ如キモノハ、左程必要ガアレバ、土地收用法モゴザイマス、ツレデ此權利ヲ與ヘテ置イテ、サウシテ此法律ノ上ニ於テ權利ヲ與ヘテ、其實ト云フモノハ、マルデ政府ガ權利ヲ得ルト云フコトハ、或ハ不都合千萬デアアル、其必要ノ程度ニ於テハ、堤防モ道路ノ如キモノ——現在今宅地ニナッテ居ル所デアラウガ、ドンナ所デアラウガ、公有ナドノ必要ノ場合ハ、收用法ヲ應用シテ構ハヌ、此法律ガアッテ十分餘地ガアリマスカラ、斯ウ云フ制限ハ、甚ダ人權ニ關シマシテ不都合デゴザイマス

○委員長(杉田定一君) 決ヲ採リマス

○(出水彌太郎君) チヨット一言言ハシテ戴キタイ、私ハ此前ガ決シマスルト、此條ハ或ハ削ルトカ、改正セナケレバナラヌ場合ガ、直キ出來テ來ヤウト思フ、前ハ先決問題デ、後ニ廻ッテ居リマスカラ、此五條ハ今此ニ決シマスルト、此條文ノ通り——原案ノ通り決シマスルト、大變差支ガ出來ル、公用ト云フダケハ、或ハ差支ガアルカラ、殘シタイト思ヒマスガ、今御話ノ通り土地收用法モアリマスカラ、五條ハ削除シテモ宜カラウト思フ、私ハ他日前ガ起キテ來テモ差支ハアルマイト存ジマス

○委員長(杉田定一君) ドウデス、決ヲ採リマセウ

○(高岡忠郷君) 私ハ反對デアリマス、土地收用法ニ依ッテヤルト云フコトデアリマスガ、社寺ニ對シテ其社寺ノ緣故ニ依ッテ、下戻シ得ルモノト云フ

別段ナル時ニナリマスルト、矢張必要ガアルノデアリマス、故ニ今日ノ社寺ナドデモ、民有地アリ、官有地アリ、其區別ノアル以上ハ、アツテモ差支ナイト思ヒマスカラ、原案ニ賛成致シマス

○委員長(杉田定一君) 決ヲ採リマス、此第五條削除ニ御同意ノ御方ハ、手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(杉田定一君) 多數デゴザイマス、第六條ハ別ニ修正ハナイヤウデゴザイマス、第六條、原案ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(杉田定一君) 原案ノ通り決シマス、第七條、是レモ原案ニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(杉田定一君) 原案ニ決シマス

○政府委員(藤田四郎君) サウスルト六箇條トナリマシタナ

○委員長(杉田定一君) 五箇條トナッタノデアリマス、是ハ自然ノ結果デ繰上グルコトニ致シマス

○政府委員(藤田四郎君) 段々此外ニモ、マダ取除ケモゴザイマスカラ、尙ホ私ノ方デモ能ク調ベマシテ、成ルタケ譲ラレマスヤウナ考ヘモ致シタイト思ヒマスカラ、是ハ確定議デナク、尙ホ此中ニ付イテモ、ソレノ意見ニ依ッテ、御直シ下サルコトノ出來ラレル道ヲ開イテ貫ヒタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス、ソレデゴザイマスレバ、能ク調ベテ見マスルシ、モウ文字ノ外ハ、一切直サスト云フコトデアリマスレバ、モウ調ベル必要モナイコトデゴザイマスガ、二次會ガ濟ンダト云フコトニナリマシテハ……

(「ソレハ賛成シマス」ト呼フモノアリ)

○委員長(杉田定一君) 遞減祿ガ殘ッテ居リマスカラ、確定ト云フコトニハ往カヌ

○政府委員(藤田四郎君) 遞減祿ノミナラズ外ノ箇條ニ付イテモ、御相談次第成ルベク本案ノ成立ツヤウニ希望致シマスカラ、篤ト明日、サウスルト外ノ條ニ付イテモ、色々申上ゲテ宜イト云フコトニ願ヒタイ

(「賛成」ト呼フモノアリ)

○委員長(杉田定一君) ソレデハ確定スルコトハ延バシマス、出水君カラ、何か一箇條加ヘルコトガ出テ居マシタナ

○(出水彌太郎君) 矢張りコチラガ極ッテナイト往カヌ

○(中村彌六君) 如何デゴザイマスカ、政府委員ノ方デモ、能ク篤ト調ベル考デアルト云フ御話デアリマス、實ハ林野法ニ付イテハ、矢張私モ餘程修正意見ヲ持ッテ居リマスガ、マダ昨日其菟蒔版ガ出來ズニシマヒマシタ、願ハクハドウゾ今日ハ、是デ御止メヲ願ヒマシテ、明日矢張下戻法案モ殘ッテ居リマスカラ、ソレト同時ニ此事ハ、御議定ヲ願フヤウニ願イタイ希望デゴザ

イマス

○委員長(杉田定一君) ドウデゴザイマス

(「賛成」ト呼フモノアリ)

○委員長(杉田定一君) ソレデハ明日ノ正十時ニ開クコトニ致シマス、國有林野法案ヘ修正ノ意見ノアル御方ハ、菟蒔版ニ書イテ、十時マデニ御廻シ下サイ、是デ散會致シマス

午後五時十一分散會